



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社アカツキ 上場取引所 東  
コード番号 3932 URL <https://aktsk.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 香田 哲朗  
問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 米島 慶一 TEL 03 (5422) 7757  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,562	△10.2	1,980	△47.6	2,031	△45.6	1,113	△40.6
2023年3月期第2四半期	12,870	1.8	3,777	1.6	3,734	△1.1	1,873	△28.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,261百万円 (△39.7%) 2023年3月期第2四半期 2,093百万円 (△21.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	92.62	89.83
2023年3月期第2四半期	138.43	134.31

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	48,409	35,104	72.2
2023年3月期	53,156	38,752	72.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 34,932百万円 2023年3月期 38,642百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期の期末配当につきましては、現時点で業績予想が困難であることから未定としております。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

当社グループは、ゲーム事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、コミック事業についても積極的に挑戦していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であります。そのため、今後につきましては、四半期毎の決算や事業の概況の適時な開示に努めることにより、通期の業績予想については開示しない方針とさせていただきます。詳細につきましては、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	14,181,100株	2023年3月期	14,143,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,627,384株	2023年3月期	550,805株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	12,022,718株	2023年3月期2Q	13,531,770株

(注) 1. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2024年3月期2Q：32,156株、2023年3月期：50,077株）を、自己株式に含めて記載しております。

2. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2024年3月期2Q：42,949株、2023年3月期2Q：71,795株）を期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2023年11月13日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクに十分注意する必要があります。

そのような状況の中、当社グループが属するゲーム業界を取り巻く環境につきましては、2023年の世界のゲーム市場の収益はマクロ経済が厳しい状況にもかかわらず、前年比で2.6%増加の1,877億ドルと予測されており、その中でも最も大きな割合を占めているモバイルゲームにつきましては前年比0.8%増の926億ドルの市場規模へ成長することが見込まれております。また2026年までに世界のゲーム市場の収益は2,124億ドルに成長することが見込まれているため、引き続きグローバルで成長し続ける業界であると考えられております。(出典:Newzoo「Global Games Market Forecast」)

また、前連結会計年度において当社グループが新規参入したコミック事業を取り巻く環境につきましては、国内の2022年コミック市場全体で前年比0.2%増の6,770億円と過去最高を更新しております。その中でも電子コミック市場は巣ごもり需要終息の影響で伸び率は縮小しているものの、前年比8.9%増の4,479億円と成長しております。

(出典:公益社団法人全国出版協会「出版月報」)さらに、当社グループが提供を始めた縦読みフルカラーコミック「ウェブトゥーン」の世界市場は、2027年に約2兆円規模にまで成長すると予想されております。(出典:QYResearch)

このような環境の中、当社グループは今後、さらなる成長を加速させるため、責任と権限を一体化して事業を運営するベンチャーグループを目指し、前連結会計年度においてゲーム事業とコミック事業の分社化及びDawn Capital 1号投資事業有限責任組合の組成等を進め、国内市場に閉じたプロジェクトへの事業投資を凍結し、グローバルポテンシャルを持つ大型プロジェクトへ集中投資することで、長期間の継続運営で大きなリターンを目指してまいりました。当社グループの主力事業であるゲーム事業では、既存タイトルの堅実な運用の下でも収益の落ち込みがあった他、3D×マルチデバイス×多言語を見据えた大型プロジェクトにリソースの大部分を集中させ、新規開発タイトルへの積極的な投資を進めてまいりました。また、コミック事業では当初予算内で検証フェーズを継続し、作品制作および他社プラットフォームでの販売強化を優先する方針のなか、有名クリエイターとの協業によるオリジナル作品の制作を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,562百万円(前年同期比10.2%減)、営業利益1,980百万円(同47.6%減)、経常利益2,031百万円(同45.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,113百万円(同40.6%減)となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (ゲーム事業)

当社グループのゲーム事業につきましては、より高いクオリティとユーザー体験にこだわり、タイトルを厳選して開発・運用していく方針の下、既存タイトルの堅実な運用と、3D×マルチデバイス×多言語を見据えた大型プロジェクトにリソースの大部分を集中させ、新規開発タイトルへの積極的な投資を進めてまいりました。主力タイトルである株式会社バンダイナムコエンターテインメントとの協業タイトル「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」につきましては、国内外で複数の大型イベントを開催し、国内だけでなく米仏を含む8の国と地域にてストアセールスランキング(注)1位を獲得しました。また、株式会社スクウェア・エニックスとの協業タイトル「ロマンシング サガ リ・ユニバース」では、3,000万ダウンロード記念イベントや佐賀県とのコラボイベント等を開催するなど、コアファンを惹きつける長期目線での安定運営を継続してまいりました。また新規タイトルにつきましては、株式会社コーエーテクモゲームスとの協業タイトル「レスレリアーナのアトリエ ～忘れられた錬金術と極夜の解放者～」が9月23日にリリースされ、初月に100万ダウンロードを突破するなど順調な滑り出しとなりました。

しかしながら、前年6月に櫻坂46・日向坂46応援[公式]音楽アプリ「UNI'S ON AIR(ユニゾンエアー)」の運営体制変更等、ポートフォリオの見直しをおこなった影響や、新規タイトルへの投資が進捗したことを受けて、前年同期比では減収・減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高10,898百万円(前年同期比14.0%減)、セグメント利益2,675百万円(同42.4%減)となっております。

(注)ストアセールスランキング:App Store またはGoogle Playのセールスランキング

(コミック事業)

当社グループのコミック事業につきましては、当初予算内で引続き検証フェーズを継続し、作品制作および他社プラットフォームでの販売強化を優先する方針のなか、有名クリエイターと協業によるオリジナル作品の制作に注力し、複数タイトルの連載を開始するなど積極的な投資を行っております。またオリジナル作品の他社プラットフォームへの展開の推進に伴って、作品の販売が堅調に推移し売上が伸長しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高345百万円(前年同期比615.6%増)、セグメント損失231百万円(前年同期はセグメント損失456百万円)となっております。

(その他)

当社グループのその他事業はIP事業等が含まれており、当第2四半期連結累計期間においては、売上高318百万円(前年同期比123.4%増)、セグメント損失81百万円(前年同期はセグメント損失121百万円)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて4,747百万円減少し48,409百万円となりました。主な要因として売掛金及び契約資産の増加2,274百万円があった一方で、現金及び預金の減少6,548百万円があった影響によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1,099百万円減少し13,304百万円となりました。主な要因としてその他流動負債の増加702百万円があった一方で、社債の償還による減少1,000百万円(1年内償還予定の社債を含む)、未払法人税等の減少664百万円及び賞与引当金の減少331百万円があった影響によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3,647百万円減少し35,104百万円となりました。主な要因として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,113百万円があった一方で、剰余金の配当545百万円及び自己株式の取得等4,426百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、ゲーム事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、コミック事業についても積極的に挑戦していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であるため、2024年3月期の業績見通しにつきましては開示しない方針とさせていただきます。

なお、業績見通しが適正かつ合理的に算出できる状況になりましたら、適時に開示する方針でございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,071	27,523
売掛金及び契約資産	3,940	6,214
その他	2,852	2,205
流動資産合計	40,864	35,943
固定資産		
有形固定資産	653	617
無形固定資産		
その他	10	84
無形固定資産合計	10	84
投資その他の資産		
投資有価証券	10,889	11,120
その他	738	641
投資その他の資産合計	11,627	11,762
固定資産合計	12,291	12,465
資産合計	53,156	48,409
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	623	879
1年内償還予定の社債	1,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,200	2,200
未払法人税等	1,265	600
賞与引当金	331	—
株式給付引当金	62	—
その他	1,865	2,568
流動負債合計	7,348	6,248
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	4,000	4,000
その他	54	55
固定負債合計	7,054	7,055
負債合計	14,403	13,304
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,777	2,778
資本剰余金	2,776	2,777
利益剰余金	34,746	35,314
自己株式	△1,963	△6,389
株主資本合計	38,338	34,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	291
為替換算調整勘定	144	161
その他の包括利益累計額合計	304	452
新株予約権	94	153
非支配株主持分	14	18
純資産合計	38,752	35,104
負債純資産合計	53,156	48,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,870	11,562
売上原価	5,273	4,678
売上総利益	7,596	6,884
販売費及び一般管理費	3,819	4,903
営業利益	3,777	1,980
営業外収益		
受取利息	7	4
為替差益	339	351
その他	18	14
営業外収益合計	364	370
営業外費用		
支払利息	16	23
社債発行費	25	—
出資金運用損	52	—
投資事業組合運用損	95	58
暗号資産評価損	217	231
その他	0	6
営業外費用合計	407	319
経常利益	3,734	2,031
特別利益		
事業譲渡益	189	—
投資有価証券売却益	32	33
特別利益合計	222	33
特別損失		
固定資産除却損	—	15
投資有価証券評価損	820	410
事業譲渡損	1	—
減損損失	63	—
特別損失合計	884	426
税金等調整前四半期純利益	3,072	1,639
法人税等	1,199	525
四半期純利益	1,872	1,113
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,873	1,113

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,872	1,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145	130
為替換算調整勘定	75	17
その他の包括利益合計	221	148
四半期包括利益	2,093	1,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,094	1,261
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,072	1,639
減価償却費	78	72
事業譲渡損益 (△は益)	△188	—
固定資産除却損	—	15
投資有価証券売却損益 (△は益)	△32	△33
投資有価証券評価損益 (△は益)	820	410
減損損失	63	—
受取利息及び受取配当金	△7	△4
支払利息	16	23
出資金運用損益 (△は益)	52	△1
投資事業組合運用損益 (△は益)	95	58
暗号資産評価損益 (△は益)	217	231
為替差損益 (△は益)	△366	△379
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△252	△333
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△163	△62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△404	△2,273
その他の資産の増減額 (△は増加)	△564	473
仕入債務の増減額 (△は減少)	△301	255
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,279	610
その他	91	112
<b>小計</b>	<b>3,484</b>	<b>814</b>
利息及び配当金の受取額	7	4
利息の支払額	△16	△23
法人税等の支払額	△651	△1,202
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,823</b>	<b>△405</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,407	—
定期預金の払戻による収入	3,000	—
有形固定資産の取得による支出	△14	△51
貸付けによる支出	—	△25
貸付金の回収による収入	20	—
投資有価証券の取得による支出	△1,483	△397
投資有価証券の売却による収入	148	40
事業譲渡による収入	69	—
暗号資産の取得による支出	△325	—
その他	49	43
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>56</b>	<b>△389</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	4,000	—
長期借入金の返済による支出	△8	—
社債の発行による収入	1,974	—
社債の償還による支出	—	△1,000
株式の発行による収入	9	0
非支配株主からの払込みによる収入	16	4
自己株式の売却による収入	15	21
自己株式の取得による支出	—	△4,484
配当金の支払額	△543	△545
その他	△0	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,463</b>	<b>△6,004</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	126	251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,470	△6,548
現金及び現金同等物の期首残高	22,624	33,971
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	196	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,292	27,423

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、2023年5月16日付で、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付けにより、普通株式2,094,500株を取得しました。この結果、株式給付信託(J-ESOP)により、信託を通じて交付した自己株式を含め、当第2四半期連結累計期間において自己株式が4,426百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が6,389百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結財 務諸表計上額 (注) 3
	ゲーム	コミック	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	12,679	48	12,727	142	12,870	—	12,870
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,679	48	12,727	142	12,870	—	12,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	71	—	71	3	75	△75	—
計	12,751	48	12,799	146	12,945	△75	12,870
セグメント利益又は 損失(△)	4,641	△456	4,185	△121	4,064	△286	3,777

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP事業等を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益又は損失の調整額△286百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグ  
メントに配分していない全社費用△292百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント  
に帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結財 務諸表計上額 (注) 3
	ゲーム	コミック	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	10,898	345	11,244	318	11,562	—	11,562
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,898	345	11,244	318	11,562	—	11,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	2	29	5	34	△34	—
計	10,924	348	11,273	324	11,597	△34	11,562
セグメント利益又は 損失 (△)	2,675	△231	2,444	△81	2,362	△381	1,980

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP事業等を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益又は損失の調整額△381百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメ  
ントに配分していない全社費用△392百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント  
に帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。